



二俣川小だより

9月号

横浜市立二俣川小学校 令和3年9月1日
発行責任者 校長 泉 太郎



副校長 和田 恭子

この夏は、新型コロナウイルスの猛威だけでなく、西日本を中心とした大雨など、例年になく災害が起きた夏となりました。皆さまの御家族や友人など、ご無事だったでしょうか。

まん延防止等重点措置、そして緊急事態宣言まで発令され、外出を控えなくてはならない日々が続きました。我が家は受験生がおりますので、もともと出かける予定はなかったのですが、それでも我が子の宿題をみたり、食事を作ったりと、そんな夏休みを過ごしておりました。

そのような中でも、季節はいつも通り移り変わり、虫の音や朝夕に吹く風などから秋の訪れを感じるようになりました。9月といえば中秋の名月です。まだまだ、自粛生活も続きそうです。自宅でゆっくりと夜空を眺めるのもいいかもしれません。



今年の中秋の名月は **9月21日(火)**



1 なぜ、月にウサギがいるのか？

「月のウサギ」にまつわる話として、ある伝説があります。

昔、あるところにウサギとキツネとサルがいました。

ある日、疲れ果てて食べ物を乞う老人に出会い、3匹は老人のため物を集めます。

サルは山に行って木の実を、キツネは川に行って魚をとってきました。しかし、ウサギは一生懸命頑張っても、何も持ってくることはできませんでした。

そこで、悩んだウサギは「私を食べてください。」と言って火の中に飛び込み、自分の身を老人に捧げたのです。

実は、その老人とは、3匹の行いを試そうとした帝釈天たいしゃくてんという神様で、帝釈天は、そんなウサギを哀れみ、月の中に甦らせて、みんなのお手本にしたのです。【インド・ジャータカ神話より】

2 ウサギはなぜ餅つきをしているの？

これには諸説あります。「ウサギが老人のために餅つきをしている」「ウサギが食べ物に困らないように」とありますが、豊穰祝いであることを考えると、たくさんお米がとれたことを感謝する意味が込められているようです。

子ども達の給食の様子をみていると、パンよりもご飯が好きな子どもが多いようです。しっかりと食事を取り、元気よく遊ぶ姿が見られることを、今後も楽しみにしています。私たち職員は、子ども達の笑顔が最高の心の栄養となります。

3 他の国でも月にはウサギなの？

地球上から同じ月を見上げているのに、地域によって見え方が違うようです。不思議ですね。

- ◆ 日本・韓国・中国 ウサギ
- ◆ 南ヨーロッパ 大きなはさみのカニ
- ◆ 東ヨーロッパ 女性の横顔
- ◆ 北ヨーロッパ 本を読むおばあさん
- ◆ モンゴル イヌ
- ◆ アラビア ライオン などなど。みなさんは何に見えますか？

夜空を見上げながら、ご家族でいろいろな話ができると、面白いかもしれません。いつもならばしない会話から、意外なこともお子さんから聞くことができるかもしれません。